



## 肥料価格高騰対策(国の事業)のご案内

JAふくしま未来では、肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のために国が実施する「肥料価格高騰対策事業」への申請対応に取り組んでまいります。

### 支援の対象となる農業者・肥料

**農産物の販売実績がある販売農家** 自給的農家は対象外です。

JA以外の出荷のみの方(直売所や軒先)は、販売されていることがわかる書類をご提示願います(出荷票、精算表など)

令和4年6月から令和5年5月に購入する肥料が支援対象  
本年の秋肥と来年の春肥はそれぞれ分けて申請

(申請期限が異なりますのでご注意ください)

#### 本年の秋肥

- ◆ 対象期間 : 令和4年6月～10月注文 ※供給済のもの
- ◆ JAへの申請期限 : 令和4年12月19日まで
- ◆ 支援金の交付 : 令和5年1月交付予定



#### 来年の春肥

- ◆ 対象期間 : 令和4年11月～令和5年5月注文
- ◆ JAへの申請期限 : 令和5年2月中(予定)
- ◆ 支援金の交付 : 令和5年4月交付予定

JAふくしま未来では、JA以外から購入分も含めて申請対応いたします。

### 支援の内容

化学肥料低減の取組を行った上で前年から増加した肥料費についてその7割を支援金として交付します。

$$\text{支援金} = \left[ \text{当年の肥料費(税込)} - \left( \frac{\text{当年の肥料費}}{\left[ \begin{array}{l} \text{秋肥1.4} \\ \text{春肥は} \\ \text{後日公表} \end{array} \right]} \div \left[ \begin{array}{l} \text{使用量低減率} \\ 0.9 \end{array} \right]} \right] \times 0.7$$

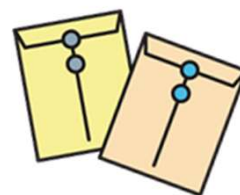
※前年の肥料費は、当年の肥料費から価格上昇率と使用低減率を割り戻して算出します。  
(価格上昇率および使用低減率は全国一律)

【支払い事例】 秋肥で100万円の場合、支援金は約14.4万円となります。

{当年肥料費100万円-前年肥料費79.4万円}×0.7÷増加肥料費20.6万円×0.7÷14.4万円

## 申請の2つのステップ

申請手続きは次のとおりです。準備資料をご確認下さい。



### 申請ステップ① 化学肥料低減計画書の作成

参考様式第2号「化学肥料低減計画書」を記入提出いただきます（別紙参照）  
化学肥料低減に向けた取組に2つ以上取り組むことが要件です。

### 申請ステップ② 肥料購入申請額の算出

購入区分	農業者にご準備 いただく資料	申請様式	金額算定
<b>J A 購入分</b>	不要です	<b>JA作成</b> ●様式2：予約 注文明細 ●様式3：JA購 入品購入明細書	⇒①
上様購入分が ある場合 (組合員コード未入力で購入)	●現金で購入した時 などの領収書等 ※組合員コード未入力で購入	●様式4へ記入 ●様式4-1へ領 収書等のコピー を貼付	⇒②
JAからの助成 金・支援金がある場合 <b>控除項目</b>	不要です	<b>JA作成</b> ●様式7-1：JA ふくしま未来降 雹被害次期作支 援事業対象品目	④ - 1 ⇒④へ転記
<b>J A 以外からの 購入分</b>	●JA以外からの購入分 の請求書・領収書	●様式5へ記入 ●様式6へ領収 書等のコピーを 貼付	⇒③
▷「肥料取締法に基づく肥料」が対象です(土壌改良資材等は対象外)。 ▷JA以外からの購入分の申請用紙には「肥料登録番号」の記載が必要です。 肥料袋に表示されてので「保証票」でご確認下さい。 ※「肥料登録番号」の記載がない場合は「保証票」の写真貼付が必要となります。			
JA以外からの 奨励金などが ある場合 <b>控除項目</b>	●奨励金額が確認で きる資料	●様式7-2：控 除を要する金額 にかかる明細記 入表	⇒④
<b>申請対象となる肥料購入金額</b> 様式1      ① + ② + ③ - ④ にて算出			

## 化学肥料低減計画書

秋肥・春肥を  
分けて申請主な作物名を記入  
【例:もも 等】

## 作付概要

作物名	作付面積(ha)
もも	1
〇〇〇	
その他	0.1
計	1.1

秋用肥料	春用肥料	年間
○		

注:該当するものに○を付けること

組合員コード 01 - 012345

通番10141001

氏名(法人・組織名)福島 未来

別紙事業採番パターンによる  
各地区又は営農センター記入

住所 福島市北矢野目字原田東1-1

電話番号 024-573-1111

1. 実施する(してきた)取組メニューに「○」を付けてください。
2. 「令和4年度又は令和5年度の取組」には、実施する取組メニューが2つ以上必要です。そのうち1つ以上は、新しい取組、従来の取組の強化・拡大(「◎」で記入)を含むようにしてください。

取組メニュー	前年度までの 取組	令和4年度又は 令和5年度の取組
ア 土壌診断による施肥設計	○	◎
イ 生育診断による施肥設計		
ウ 地域の低投入型の施肥設計の導入		
エ 堆肥の利用		
オ 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)		
カ 食品残渣など国内資源の利用(エとオ以外)		
キ 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用		
ク 緑肥作物の利用		
ケ 肥料施用量の少ない品種の利用		
コ 低成分肥料(単肥配合を含む)の利用		
サ 可変施肥機の利用(ドローンの活用等も含む)		
シ 局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等)の利用		
ス 育苗箱(ポット苗)施肥の利用		
セ 化学肥料の使用量及びコスト節減の観点からの施肥量・肥料銘柄の見直し(ア～スに係るものを除く。)		
ソ 地域特認技術の利用( )		

## JAからのおすすめメニュー

## 《水稻》

ア 土壌診断による施肥設計

⇒土壌診断の実施

イ 生育診断による施肥設計

⇒葉色板による計測

キ 有機質肥料の利用

⇒有機質含有量は不問

コ 低成分肥料の利用

⇒リン酸及び加里成分が少ない、  
いわゆるL型肥料

シ 局所施肥の利用

⇒側条施肥

## 《園芸・果樹》

ア 土壌診断による施肥設計

⇒土壌診断の実施

イ 生育診断による施肥設計

⇒生育状況の計測

エ 堆肥の利用

⇒自給堆肥での可

キ 有機質肥料の利用

⇒有機質含有量は不問

ク 緑肥作物の利用

⇒イタリアンライグラス等

シ 局所施肥の利用

⇒うね立て施肥や灌注施肥

私は、添付した領収書(請求書)等記載の肥料(肥料)

☒ 令和4年秋肥又は令和5年春肥として☒ 複数の取組実施者(農業者グループ)に

※チェック欄にチェックした上で署名してください。

氏名(自署)

福島 未来

(注) 当年の肥料費は、秋用肥料については令和4年6月～10月、春用肥料については令和4年11月～令和5年5月に発注したことを証明する書類(注文票等)と、参加農業者が肥料費を支払ったことを証明する書類(領収書等)または支払い義務が生じていることを示す書類(請求書等)を提出すること。  
なお、肥料の種類、数量、購入費が記載されているものに限る。

## Q&A

問 い	答 え
①化学肥料が足りなくなるということを聞いたのですが。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肥料メーカーや輸入事業者の努力により当面必要な肥料原料は確保されています。</li> <li>・ 今後も、調達状況を注視して、肥料の安定供給に取り組んでまいります。</li> </ul>
②化学肥料の使用量を実際に2割減らすことが支援の要件ですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 化学肥料の2割低減に向けて、取組メニューのうち2つ以上行っていたいただければ支援対象となります。</li> <li>・ 選択された取組について、適切にフォローしていきます。</li> </ul>
③既に化学肥料の低減に取り組んでいるため、更に低減することは難しい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既に取り組んでいるものもカウントします。</li> <li>・ その際は、既に行っている取組の拡大や改善で良いので、新たな取り組みを1つ以上行ってください。</li> </ul>
④低減に向けた取組をしたいが、準備が必要なのですぐには行えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本年に取り組めない場合は、来年に取り組んでいたいただければ結構です。</li> <li>・ 国内資源の利用など体制整備に時間を要する取組は、期間内に取り組んでいたいただければ結構です。</li> </ul>
⑤低減に向けた取り組みの記録はどうするのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 化学肥料低減に取り組んだことの証拠書類を農業者自身で保管することが義務づけられています。国による抽出検査も実施されます。</li> <li>・ 証拠書類は分析結果表や作業日誌、写真等です。</li> </ul>
⑥領収書の提出が間に合わない場合はどうすれば良いですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 領収書が間に合わない場合は、請求書を提出いただければ、支援金をお支払いすることができます。</li> </ul>





# ●説明会・受付会を開催します

説明会および受付会を各地区で開催します。  
開催日が決まり次第お知らせします。  
(ホームページでも掲載)



皆様にご準備いただくものをご確認のうえ  
受付会場・各営農センターにお越しください。

## ◆JA以外のみに出荷されている方

☒ 販売証明書類(出荷票・精算書)

※JAへの出荷者は販売証明書類は不要

## ◆JAからの肥料購入分

☒ 現金購入分の領収書等

※予約・当用(現金購入以外)は準備物不要

## ◆JA以外からの肥料購入分

☒ 請求書・領収書

☒ 肥料登録番号 もしくは 保証票の写真

☒ 奨励金の受取がわかる資料

JA取引は  
申請も簡単！

## 予約購入をオススメいたします!!

- Point1** 予約価格はJAで一番安い価格設定となっています  
さらに自己取りで、肥料一袋あたり30円引きとなります
- Point2** 予約購入金額に応じて奨励金がもらえます
- Point3** 支払いまでの期間が延長されます(※未収金の方のみ)  
通常翌月払いのところ、今回の予約の場合、申し込み8月  
で翌年2月25日決済となります



お問合せ先 : JAふくしま未来 各営農センター